

西東京フィルハーモニーオーケストラ

第36回定期演奏会

指揮 西口 彰浩

ヴァイオリン独奏 若生 麻理奈

リスト 交響詩「レ・プレリュード」

シベリウス ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47

ブラームス 交響曲第4番 ホ短調

Meiningen, Germany

2024年7月7日(日) 14:00開演 (13:30開場)

タクトホームこもれびGRAFAREホール メインホール

全席自由席 1,000円

チケット取り扱い

タクトホームこもれびGRAFAREホール 042-421-1919

宮地楽器 アスタ田無センター 042-468-0055

宮地楽器 保谷センター 042-421-4411

未就学児の入場は無料です。

車椅子席の用意があります。下記までお申し出ください。

お問い合わせ

☎ 080-5024-5253 (西田)

✉ ntp-koho@nishitokyo-phil.com

🌐 <https://nishitokyo-phil.com/>

📘 <https://www.facebook.com/NishitokyoPhil/>



交通案内

西東京市保谷庁舎となり (西東京市中町1-5-1)

はなバス & 西武バス & 関東バス「保谷庁舎」下車



◇主催 西東京フィルハーモニーオーケストラ ◇共催 タクトホームこもれびGRAFAREホール

◇後援 西東京市・西東京市教育委員会・エフエム西東京・西東京市文化芸術振興会・宮地楽器・三幸タクシー

西東京フィルハーモニーオーケストラ 第36回定期演奏会 [出演者プロフィール]

指揮 西口 彰浩 Akihiro Nishiguchi



東京音楽大学作曲指揮専攻、同大学大学院指揮研究領域卒業。指揮を広上淳一、田代俊文、増井信貴、米津俊広、三河正典、三原明人、高階正光、今村能の各氏に師事。「東総の第九2017」にて、東京音楽大学シンフォニーオーケストラの指揮を務めたほか、文化力発信プロジェクトでは長野県、京都府、都内にて多数公演を行う。2019年に東京音楽大学で行われた「And music」の公演では、鈴華ゆう子氏と共演。東京音楽大学創立111周年記念オペラ公演、山梨トヨタコミュニティコンサート、栃木県小山オペラアンサンブル、新宿区民オペラ、文京区民オペラ、せたがや名曲コンサート、東京室内歌劇場、などでオペラの副指揮、コレパティを務める。東京音楽大学指揮科助手。西東京フィルとは、第33回定期演奏会以来、3回目の共演となる。

ヴァイオリン独奏 若生 麻理奈 Marina Wako



2007年生まれ。3歳より母の手ほどきでヴァイオリンを始める。現在、桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）2年に特待生として在学中。2022年、第91回日本音楽コンクール第3位および岩谷賞（聴衆賞）受賞。第1回横浜国際ヴァイオリンコンクール、グランプリ受賞。いしかわミュージックアカデミーIMA音楽賞受賞。2021年、かながわ音楽コンクール最優秀賞及び県知事賞（大賞）受賞。2020年、第74回全日本学生音楽コンクール中学の部、東京大会第1位、全国大会第1位及び兎束賞、東儀賞を受賞。彩の国String Competition最優秀賞およびグランプリ受賞。2018年、日本演奏家コンクール小学生の部第1位および準グランプリ受賞。2017年、第71回全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部第2位。洗足学園ジュニア音楽コンクール弦楽器部門グランプリ受賞。水野佐知香、原田幸一郎、神谷美千子の各氏に師事。

管弦楽 西東京フィルハーモニーオーケストラ



創設25周年を迎え、タクトホームこもれびGRAFAREホール（保谷こもれびホール）はリニューアルされました。西東京フィルも創立25周年を迎え、改めてこのホールをフランチャイズとして活動をしてまいります。

今回は、2007年生まれの若きヴァイオリニスト 若生麻理奈さんをソリストにお迎えし、シベリウスのヴァイオリン協奏曲を協演いたします。第1楽章の冒頭部分を「極寒の澄み切った北の空を、悠然と滑空する鷲のように」とシベリウスが表現しています。交響的で重厚な響きと室内乐的で緊密な構成が特筆されるこの曲を、若い感性の若生さんがどのように演奏して下さるかとても楽しみです。ほかのプログラムは、第2回の定期演奏会で演奏したリストの「レ・プレリュード」と、12年ぶりに取り上げるブラームス交響曲第4番です。

指揮者は、将来を有望視されている若手指揮者の西口彰浩さんと3度目の共演となります。曲のすばらしさを少しでもお届けできましたら幸いです。